

自主・創造・根気

第5号

2018. 5. 2

三田市立狭間中学校

「生活アンケート」について

○今年度も、本校独自の「生活アンケート」を全生徒対象に毎月1回（年間10回）実施します。その目的は、以下の通りです。

- ①「いじめ」をはじめ、個々の生徒の悩みや心配ごとを早期に把握し、迅速かつ効果的に対応するため
- ②本校生徒の良さを教師、生徒、保護者の三者が共有し、集団に寄与する生徒を認めるなど、生徒に自信と誇りを持たせてより良い学校をつくるため
- ③学校生活における改善点を把握し、必要に応じて個々の生徒の指導にあたり自浄作用のある学年（学級）集団を形成するため

○そして、調査した「生活アンケート」をもとに、以下のように対応していきます。

- ①学級担任、生徒指導担当及び校長がすべてのアンケートに目を通し、必要に応じて学級担任とともに対応にあたる
- ②集計したアンケート結果を全教職員に報告するとともに、必要に応じて個々の生徒との教育相談を実施する
- ③アンケートの結果と分析、学校の対応については、後日、学校通信等で生徒や保護者に報告する

○「生活アンケート」の質問項目は、以下の通りです。 *9、12、1、3月は項目を一部変更

- ①狭間中の良いところ（こんな生徒を見ました）
- ②学校生活で気になるところ（こんな場面を見ました）
- ③自分自身のことで、いじめや悩み、心配ごとはありませんか

5月1日(火)、1回目の「生活アンケート」を実施しましたので、報告いたします。

【①狭間中の良いところ】の質問で、全学年で回答が多かったのは「あいさつができる 66.5%（1年:55.2% 2年:68.3% 3年:73.8%）」でした。昨年度の5月（73.8%）と比べると数値が下がっています。生徒会は今年度も「あいさつ運動」に取り組みます。1年生にもあいさつの大切さを理解させながら、全生徒に“あいさつ”を定着させていきます。

学年毎に見てみると、1年生は「先輩が優しい 28.6%」「優しい 10.5%」等、2年生は「トイレのサンダルを揃える 28.6%」等、3年生は「トイレのサンダルを揃える 13.8%」「明るい・元気 8.5%」等の回答がありました。

中学校生活をはじめた1年生にとって、上級生との関係は重要です。新入生に上級生が優しく接する校風を嬉しく思います。

【②学校生活で気になるところ】の質問では、全学年で「廊下を走ったり、教室で暴れたりしている 21.1%（1年:15.2% 2年:38.1% 3年:9.2%）」の回答が多く、昨年度の5月（14.9%）と比べても数値が高いです。2年生の中には、廊下でふざけあって怪我をした人もいます。危険を伴う行為ですので、喫緊の課題として取り組みます。

学年毎に見てみると、1年生は「時間に遅れる人がいる 2.9%」等、2年生は「トイレのサンダルが乱れている 6.3%」「授業態度が悪い 5.6%」等、3年生は「トイレのサンダルが乱れている 9.2%」「5分前行動、3分前着席ができていない 6.2%」等の回答がありました。その他、「給食準備中の過ごし方」「身だしなみ」等、生活面で気になる回答が数多くありました。落ち着いた環境のなかで充実した学校生活が送れるように、生徒とともに考えて改善していきます。

【③自分自身のことで、いじめや悩み、心配ごとはありませんか】の質問では、1年生で「部活動に関すること 4人」「勉強に関すること 3人」「人間関係 2人」「給食を食べるのが遅い 2人」「勉強と部活動の両立 1人」等、2年生は「勉強、テスト、入試に関すること 11人」「部活動に関すること 6人」「人間関係 2人」「勉強と部活の両立 1人」、3年生は「受験、勉強、テスト、進路に関すること 17人」「部活動に関すること 3人」「人間関係 2人」「勉強と他の活動との両立 2人」の回答がありました。

回答のあった生徒とは、学級担任を中心に学年で関わり、悩みや心配ごとの解消に努めていきます。

また、「いじめ」の防止や早期発見・早期対応などを実行的に行うため、「学校いじめ対応チーム」を設置して、全教職員で“いじめ撲滅”に取り組んでいきます。